

社会思想史学会
第 49 回大会

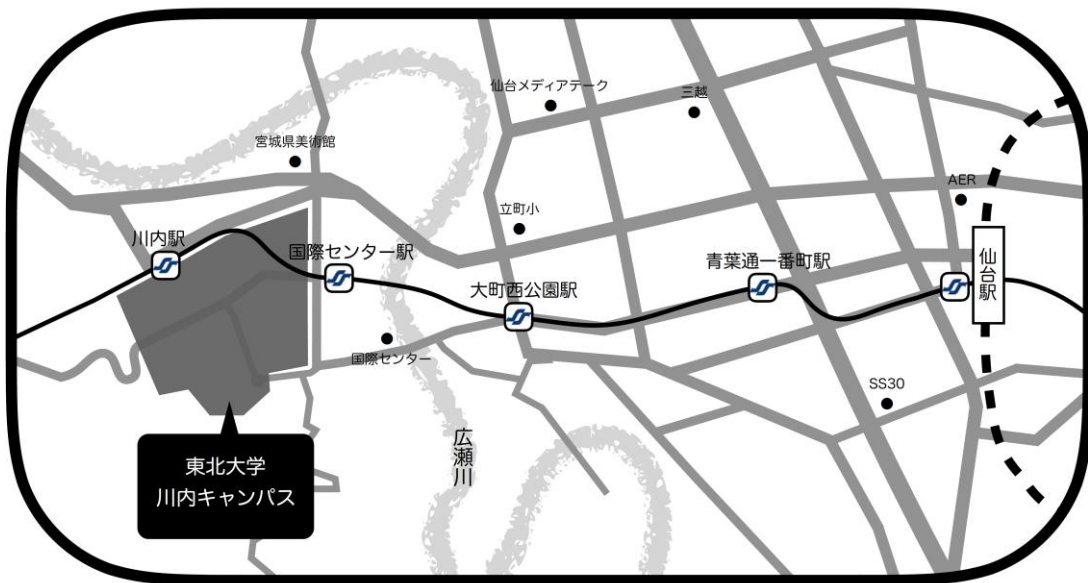
大会情報・プログラム

共催：東北大学大学院文学研究科

大会会場：東北大学川内キャンパス文科系総合講義棟

住所：〒980-0862 宮城県仙台市青葉区川内

東北大学 川内キャンパスへのアクセス



交通のご案内

◇仙台空港からのアクセス

◎仙台空港鉄道

仙台空港アクセス線 仙台方面行きに乗車「仙台」にて下車（約25分、650円）

(参考) 仙台空港鉄道<http://www.senat.co.jp/>

◇仙台駅からのアクセス

◎仙臺市營地下鉄

地下鉄東西線 八木山動物公園方面行きに乗車「川内駅」にて下車(約6分、200円)
キャンパス直結

(参考) 仙台市交通局地下鉄<https://www.kotsu.city.sendai.jp/subway/index.html>

◎タクシー

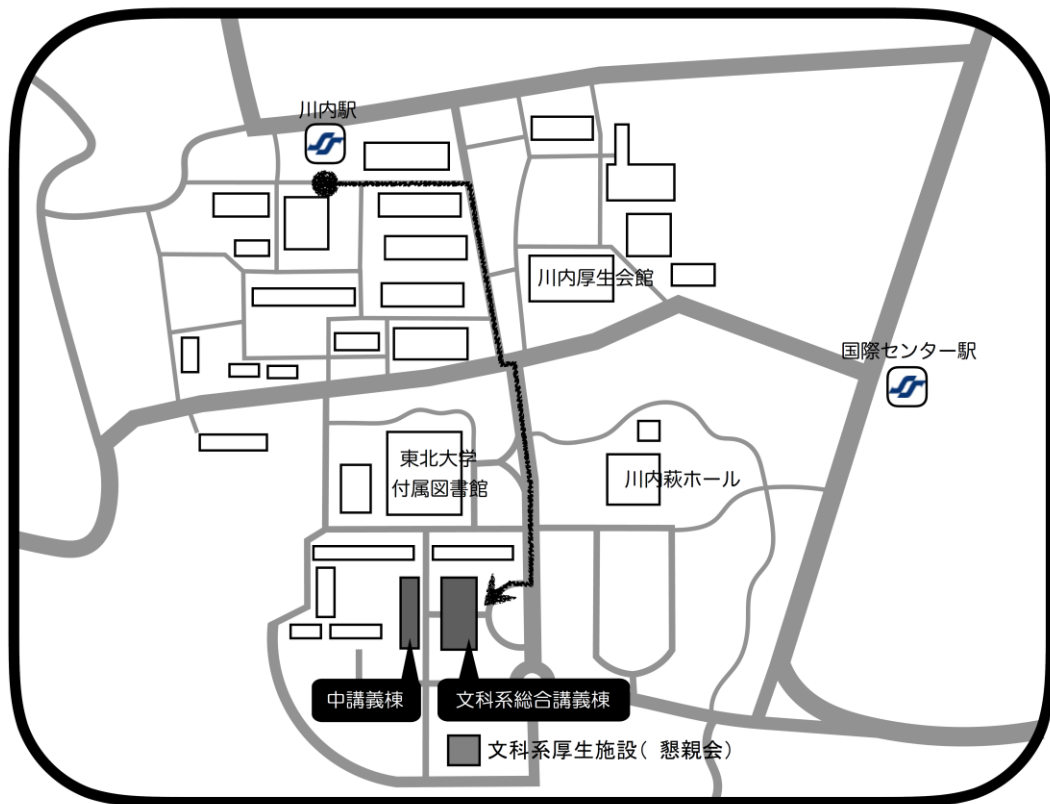
JR仙台駅タクシープールより
「東北大学・川内キャンパス」で到着
約10分、1,300円前後

◇タクシーのご案内

◎仙台無線タクシー 0570-06-1000
◎第一交通 022-236-1221
◎平和交通 022-234-0161

※各所要時間は、交通状況により異なります。

東北大学 川内キャンパス内マップ



地下鉄東西線「川内駅」下車 徒歩約5分

大会連絡先

980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

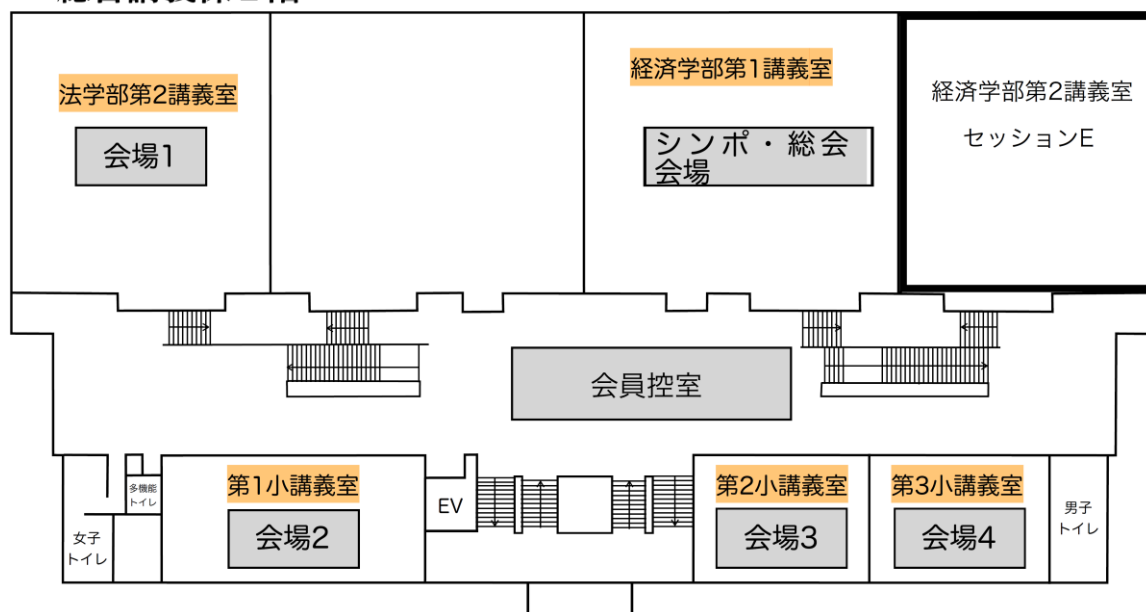
東北大学大学院文学研究科哲学倫理学合同研究室

※大会時の緊急連絡は下記の学会事務局メールアドレスへ

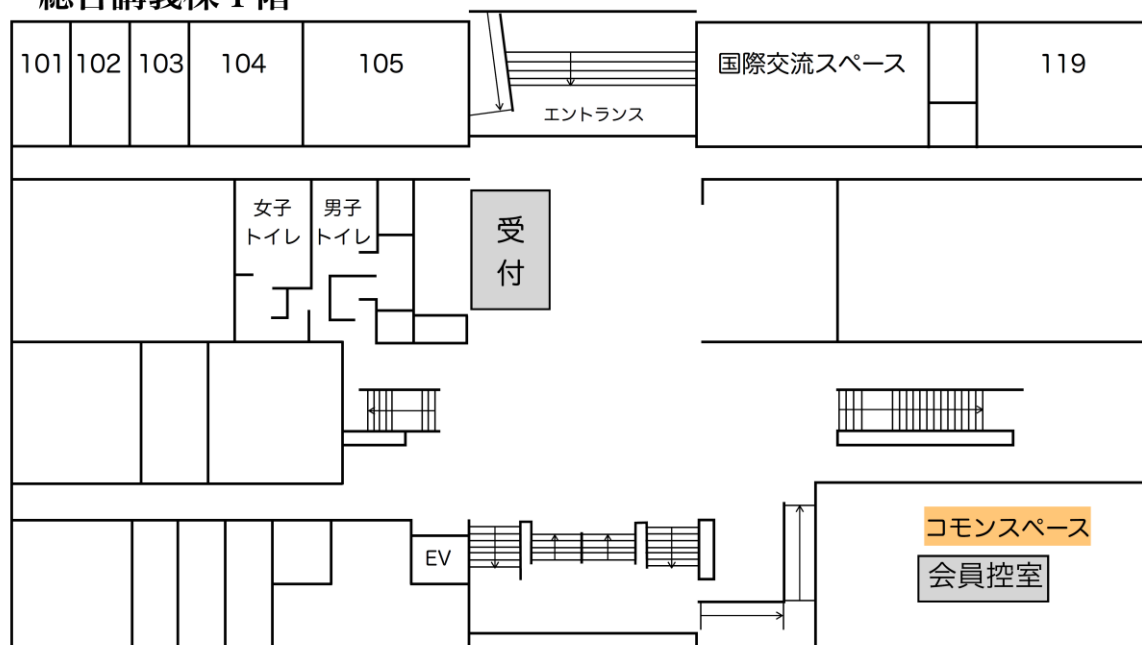
shst-office@shst.jp

文科系総合講義棟会場見取り図

総合講義棟 2 階



総合講義棟 1 階



教室利用表 (マル付数字は配布資料ダウンロードの際のファイル番号)

()内は司会者

第一日目	シンポ・総会場	第1会場 法学部第2講義室	第2会場 第1小講義室	第3会場 第2小講義室	第4会場 第3小講義室
10:00-12:00		A 「批判理論」の成立過程：初期ホルクハイマーにそくして	B 18・9世紀ドイツの社会経済思想：カントの社会思想の当時と現在における意義：生誕300年に寄せて	C 啓蒙的自然主義の批判と疎外論：マルクス、フォイエールバッハ、シュティルナー	D 戦後思想再考《始まりを問い質す》第4回
13:00-13:45		① 赤海勇人 「プロレタリアートの独裁」概念の多義的性格：マルクス・エンゲルスからロシア革命まで (大河内泰樹)	報告者のご事情によりキャンセル	③ 後藤正英 寛容はなぜ批判理論の問題となるのか：フォアスト寛容論の射程 (上野成利)	④ 岩井洋子 西田幾多郎と「絶対無」 (恒木健太郎)
14:00-14:45		⑤ 高橋若木 独裁と剰余：ジジェクにとつてのアルチュセール (太子堂正称)	⑥ 上村剛 理性の国家 (Empire of Reason) : ノア・ウェプスターにおける政治と言語 (安藤裕介)	⑦ 田中雄祐 〈見えないもの〉と〈社会的想念〉についての試論：メルロ＝ポンティとカストリアディス (川出良枝)	⑧ 遠藤健樹 世俗化と時間化：ラインハルト・コゼレックとカール・レーヴィットの関係 (小野寺研太)
15:00-17:40	シンポジウム				
17:40-18:40	総会				

第二日目		第1会場 法学部第2講義室	第2会場 第1小講義室	第3会場 第2小講義室	第4会場 第3小講義室
9:30-11:30		E 思想史と市民アーカイヴ：社会的生の質を保つために ※このセッションは経済学部第2講義室で開催	F 批判理論の成立過程（続）：フロム、ボロックにそくして：フランクフルト社会研究所創立から100年を期して(2)	G 社会思想におけるリプロダクション：ガヤトリ・スピヴァクの脱再生産主義	H 政治理論とインテレクチュアル・ヒストリー：ジュディス・シュクラールにおける希望と記憶
12:30-13:15		⑨ 石田雅樹 ジョン・デューイにおける「全体主義」批判とその教育的可能性について (板井広明)	⑩ 北村浩 コンテンポラリーアートと社会思想：ソーシャリー・エンゲージド・アートを軸にして (五野井郁夫)	⑪ 佐藤梓 ミメシスと差異の問題：カイヨワと『啓蒙の弁証法』の接合点及びジラールへの展開について (重田園江)	⑫ 岡崎佑香 ヘーゲル法哲学における賤民の叛逆と妻の恭順 (麻生博之)
13:30-14:15		⑬ 山本千寛 総動員前夜の「都市武装」論：1930年代の日本建築協会にみる防空都市の思想 (武藤秀太郎)	⑭ 上田恒友 ソレルの暴力と強制力：ベンヤミン「暴力批判論」的読解の再検討 (梅垣千尋)	⑮ 崎山英俊 ハーバーマスの歴史哲学批判：カントとヘーゲルをめぐる (細見和之)	
14:30-16:30		I 政治学者が読むグレーバー	J 幹事会企画セッション：社会思想史研究の系譜(2)	K 木村周市朗著『ドイツ国家学と社会改革：クラウゼ派自然法論の成立と問題圏』(御茶の水書房、2023年)を読む	

2024 年度 社会思想史学会総会

1. 議長選出

2. 報告事項

- (1) 会員の異動について
- (2) 会費納入状況について
- (3) 第 49 回および第 50 回大会について
- (4) 本年度および次年度以降の『社会思想史研究』について
- (5) その他

3. 審議事項

- (1) 2023 年度決算および会計監査報告
- (2) 研究倫理規程の制定について
- (3) 幹事選挙投票方法の変更について
- (4) 年報掲載論文の J-Stage 登載について
- (5) 2024 年度予算
- (6) 年報「公募論文投稿規程三」（論文の枚数について）の変更
- (7) その他

4. 研究奨励賞の選考結果および表彰

大会プログラム

11月8日（金） 17:00～19:00 幹事会 経済学部第3講義室

11月9日（土） 10:00～14:45 セッション・自由論題報告

【第1会場】法学部第2講義室 【第2会場】第1小講義室

【第3会場】第2小講義室 【第4会場】第3小講義室

15:00～18:40 シンポジウム・総会

経済学部第1講義室

19:00～ 懇親会（東北大学構内文科系厚生施設）

-----10:00～12:00 セッション-----

A 「批判理論」の成立過程：初期ホルクハイマーにそくして

【第1会場】

世話人：細見和之（京都大学）

報告者：青柳雅文（立命館大学非常勤）・楠秀樹（東京理科大学非常勤）

討論者：上野成利（神戸大学）

B 18・9世紀ドイツの社会経済思想：カントの社会思想の当時と現在における意義：生誕300年に寄せて

【第2会場】

世話人：原田哲史（関西学院大学）・大塚雄太（愛知学院大学）

報告者：斎藤拓也（北海道大学）・網谷壮介（獨協大学）

討論者：小谷英生（群馬大学）・津田栞里（東洋大学）

C 啓蒙的自然主義の批判と疎外論：マルクス、フォイエルバッハ、シュティルナー

【第3会場】

世話人：柏崎正憲（一橋大学）

報告者：柏崎正憲、菊地賢（立教大学）

討論者：隅田聡一郎（大阪経済大学）

D 戦後思想再考《始まりを問い質す》第4回

【第4会場】

世話人：中野敏男（無所属）

報告者：初見基（無所属）

討論者〔順不同〕：三島憲一（無所属） 川本隆史（無所属） 中野敏男（無所属）

-----13:00～13:45 自由論題-----

※丸付き数字は配布資料ダウンロードの際のファイル番号です

「プロレタリアートの独裁」概念の多義的性格：マルクス・エンゲルスからロシア革命まで

① 【第1会場】

報告者：赤海勇人（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）

司 会：大河内泰樹（京都大学）

第2会場のこの時間枠は報告者の事情によりキャンセルとなりました

② 【第2会場】

寛容はなぜ批判理論の問題となるのか：フォアスト寛容論の射程

③ 【第3会場】

報告者：後藤正英（佐賀大学）

司 会：上野成利（神戸大学）

西田幾多郎と「絶対無」

④ 【第4会場】

報告者：岩井洋子（東京女子大学研究員）

司 会：恒木健太郎（専修大学）

-----14:00～14:45 自由論題-----

独裁と剰余：ジジエクにとってのアルチュセール

⑤ 【第1会場】

報告者：高橋若木（大正大学）

司 会：太子堂正称（東洋大学）

理性の国家（Empire of Reason）：ノア・ウェブスターにおける政治と言語

⑥ 【第2会場】

報告者：上村剛（関西学院大学）

司 会：安藤裕介（立教大学）

〈見えないもの〉と〈社会的想念〉についての試論：メルロ＝ポンティとカストリアディス

⑦ 【第3会場】

報告者：田中雄祐（東京福祉大学）

司 会：川出良枝（東京大学）

世俗化と時間化：ラインハルト・コゼレックとカール・レーヴィットの関係

⑧ 【第4会場】

報告者：遠藤健樹（北海道教育大学釧路校）

司 会：小野寺研太（日本女子大学）

-----15:00～18:40 シンポジウム・総会-----

シンポジウム「社会思想の課題としてのパレスチナ／イスラエル」

【経済学部第1講義室】

報告者：岡真理（早稲田大学）・佐藤貴史（北海学園大学）

討論者：山田正行・金城美幸（立命館大学）

司 会：五野井郁夫（高千穂大学）・大河内泰樹（京都大学）

17:40-18:40 総会

【経済学部第1講義室】

19:00～ 懇親会

【東北大学構内文科系厚生施設】

11 月 10 日 (日)

9:30～11:30 / 14:30～16:30 セッション

12:30～13:15 / 13:30～14:15 自由論題報告

【第 1 会場】法学部第 2 講義室／セッション E のみ経済学部第 2 講義室

【第 2 会場】第 1 小講義室

【第 3 会場】第 2 小講義室

【第 4 会場】第 3 小講義室

-----9:30～11:30 セッション-----

E 思想史と市民アーカイヴ：社会的生の質を保つために

【経済学部第 2 講義室】

世話人：中山智香子（東京外国語大学）

報告者：田中滋（PARC 事務局長、非会員）・友常勉（東京外国語大学）

討論者（オンライン）：Ichiyo Muto (A founder of PARC, The committee member of People's Plan Study Group、非会員)・Lau Kin Chi (Lingnan University (香港)、非会員)・Michael Hardt (Duke University、非会員)

F 批判理論の成立過程（続）：フロム、ポロックにそくして：フランクフルト社会研究所創立から 100 年を期して(2)

【第 2 会場】

世話人：高幣秀知（北海道大学名誉教授）

報告者：櫻井隆充（慶応義塾大学 SFC 研究所上席研究員）・古松丈周（旭川市立大学教授）

討論者：木村邦博（東北大学名誉教授）・隅田聡一郎（大阪経済大学専任講師）

G 社会思想におけるリプロダクション：ガヤトリ・スピヴァクの脱再生産主義

【第 3 会場】

世話人：後藤浩子（法政大学）

報告者：伊藤潤一郎（新潟県立大学：非会員）

討論者：後藤浩子、棚沢直子（東洋大学名誉教授：非会員）、草野いづみ（東洋大学人間科学総合研究所客員研究員：非会員）

H 政治理論とインテレクチュアル・ヒストリー：ジュディス・シュクラーにおける希望と記憶

【第4会場】

世話人：安武真隆（関西大学）、小田川大典（岡山大学）、石川敬史（帝京大学）

司 会：安武真隆（関西大学）

報告者：小田川大典（岡山大学）、田中将人（岡山商科大学）

討論者：山岡龍一（放送大学）

-----12:30～13:15 自由論題-----

※丸付き数字は配布資料ダウンロードの際のファイル番号です

ジョン・デューイにおける「全体主義」批判とその教育的可能性について

⑨ 【第1会場】

報告者：石田雅樹（宮城教育大学）

司 会：板井広明（専修大学）

コンテンポラリーアートと社会思想：ソーシャリー・エンゲージド・アートを軸にして

⑩ 【第2会場】

報告者：北村浩（公益財団法人 政治経済研究所）

司 会：五野井郁夫（高千穂大学）

ミメシスと差異の問題：カイヨワと『啓蒙の弁証法』の接合点及びジラールへの展開について

⑪ 【第3会場】

報告者：佐藤梓（明治大学大学院 情報コミュニケーション研究科 博士後期課程）

司 会：重田園江（明治大学）

ヘーゲル法哲学における賤民の叛逆と妻の恭順

⑫ 【第4会場】

報告者：岡崎佑香（立命館大学専門研究員／日本学術振興会特別研究員 PD）

司 会：麻生博之（東京経済大学）

-----13:30～14:15 自由論題-----

総動員前夜の「都市武装」論：1930年代の日本建築協会にみる防空都市の思想

⑬ 【第1会場】

報告者：山本千寛（福山市立大学）

司 会：武藤秀太郎（新潟大学）

ソレルの暴力と強制力——ベンヤミン「暴力批判論」的読解の再検討

⑭ 【第2会場】

報告者：上田恒友（東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程）

司 会：梅垣千尋（青山学院大学）

ハーバーマスの歴史哲学批判：カントとヘーゲルをめぐって

⑮ 【第3会場】

報告者：崎山英俊（大阪大学博士後期課程）

司 会：細見和之（京都大学）

-----14:30～16:30 セッション-----

I 政治学者が読むグレーバー

【第1会場】

世話人・司会・討論者：重田園江（明治大学）、網谷壮介（獨協大学）

報告者：宇野重規（東京大学）、野口雅弘（成蹊大学）、上村剛（関西学院大学）

J 【幹事会企画セッション】

社会思想史研究の系譜学(2)：ケンブリッジ学派とはなんであり、どのような影響を私たちに与えたのか

【第2会場】

報告者：竹澤祐丈（京都大学）

討論者：原田哲史（関西学院大学）

司 会：後藤浩子（法政大学）

**K 木村周市朗著『ドイツ国家学と社会改革：クラウゼ派自然法論の成立と問題
圏』（御茶の水書房、2023 年）を読む**

【第3会場】

世話人：鳴子博子（中央大学）

報告者：杉田孝夫（お茶の水女子大学名誉教授）・金山準（北海道大学）・深貝保則（横
浜国立大学名誉教授）

討論者：木村周市朗（成城大学名誉教授）

○大会開催校・学会事務局からの連絡とお願い

◆ 大会参加申し込みのお願い

大会参加人数の事前把握のため、参加される方は、学会HPの大会特設ページ内にある大会参加申し込みフォームに予めご記入ください。

◆ 大会受付

受付は、文系総合講義棟1階にあります。参加者はこちらで必ず受付を済ませてください。

◆ 大会プログラム・報告集のウェブサイト掲載

冊子体での大会プログラム・報告集発行は廃止されました。大会プログラム・報告集は学会HP (<http://shst.jp>) 掲載のPDFファイルのみとなりますので、ご了承ください。

◆ 印刷物の配布について

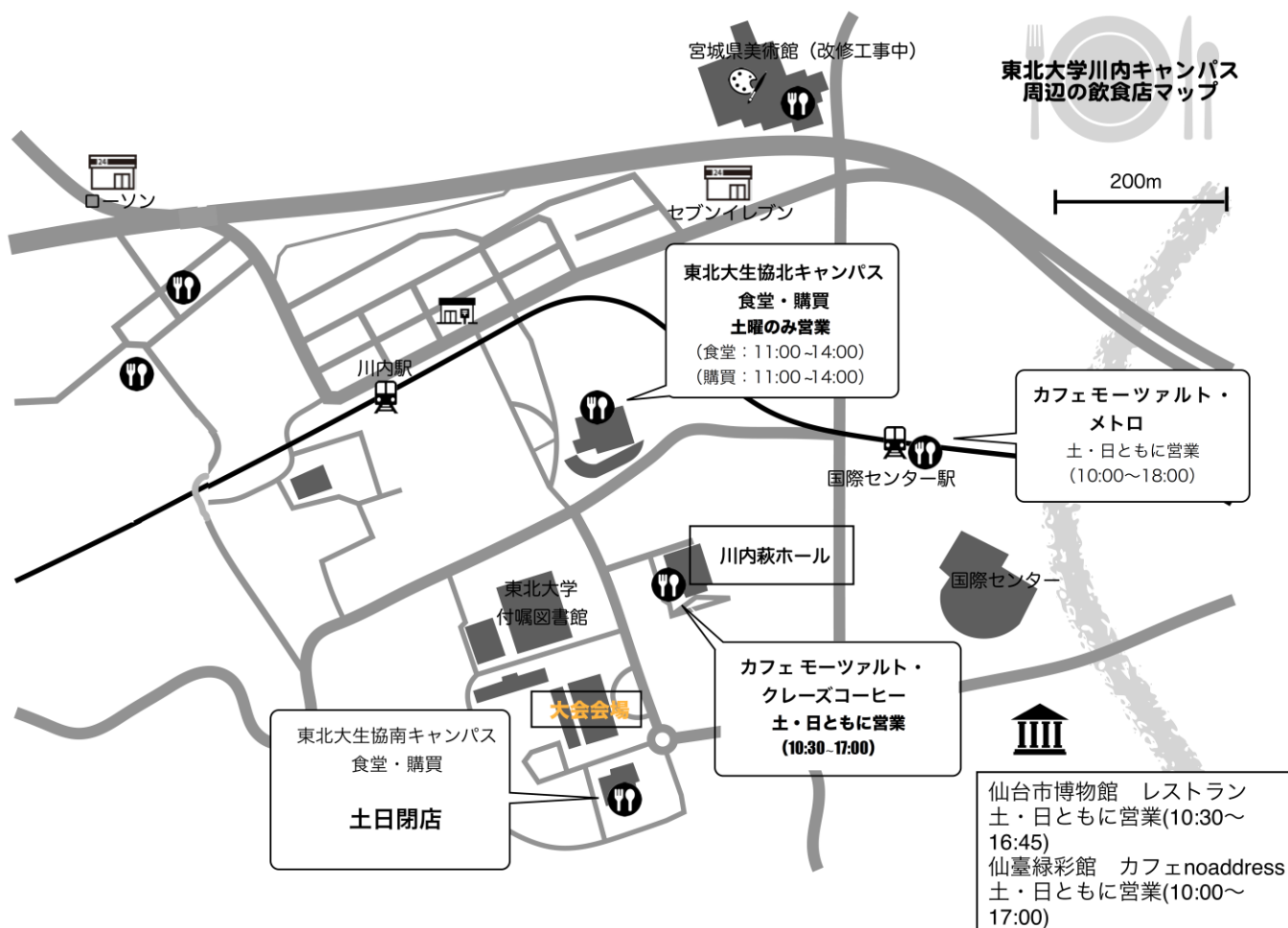
報告等で印刷物の配布をされる方は、各自作成のうえ、報告会場まで直接ご持参ください。受付では一切のコピーをいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。なお、PDFまたはMS Wordファイルを学会HP上の大会特設ページ内の資料配布欄に各自アップロードして頂くことができます。

◆ 懇親会の予約について

学会HP上の大会特設ページ内に懇親会の予約ページがあります。予約と同時にクレジットカード決済の必要があります。**10月31日まで**にお手続きください。

◆ ご昼食

お弁当販売はありません。川内キャンパス周辺の飲食店とコンビニについては次頁のマップをご参照ください。



第2日 日曜日の昼食について

カフェモーツァルト・クレーズコーヒーは、日曜も営業しておりますが、20人ほどの収容規模なので、昼食のご持参をお勧めいたします。